

## 平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン  
 コード番号 3350 URL <http://www.redplanetjapan.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野間 史敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 室長 (氏名) 丹藤 昌彦  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 050-5835-0966

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	1,359	△23.5	△274	—	△304	—	△305	—
25年9月期第3四半期	1,777	14.0	△40	—	△75	—	△79	—

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 △305百万円 (—%) 25年9月期第3四半期 △79百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	△3.37	—
25年9月期第3四半期	△2.87	—

(注) 1. 当社は、平成25年3月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

2. 当社は、平成25年9月期より決算期を8月31日から9月30日に変更しているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	3,440	—	2,486	—	72.0	—
25年9月期	1,873	—	916	—	41.3	—

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 2,479百万円 25年9月期 773百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成25年9月期は、決算期変更により13か月決算決算のため、通期の対前期比増減率は記載しておりません。

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	—	△250	—	△250	—	△250	—	△2.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成25年9月期は、決算期変更により13か月決算決算のため、通期の対前期比増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社キューズマネージメント、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期3Q	105,332,237 株	25年9月期	55,058,351 株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	50,100 株	25年9月期	50,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期3Q	90,549,863 株	25年9月期3Q	27,739,300 株

(注) 当社は、平成25年3月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により個人消費が弱い動きとなっているものの、為替の円高基調や各種政策の効果などにより、緩やかに景気回復に向かう動きが見えております。

当第3四半期会計期間における当社グループの状況は、連結子会社でありますダイキサウンド株式会社は、昨年、一部アーティストの新譜・旧譜の売上が好調に推移していましたが、当会計期間においての新譜の発売がなかったことなどから、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、既存事業であります音楽事業を中心に事業展開してまいりましたが、平成25年4月より新たな事業としてホテル事業を開始し、音楽事業に続く柱となるべく強化を図っており現在、沖縄のホテル1棟が既にオープンしているほか、東京都台東区浅草のホテル1棟を開発中であり、愛知県名古屋市中区のホテル用地取得及び東京都品川区五反田のホテルについて不動産売買契約書を締結しており、更に政令都市を中心にホテル用地取得に向けた取組みを強化しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における状況は、既存事業である音楽事業は、新譜・旧譜ともに厳しい状況が続いております。また、新たに開始したホテル事業に関しては、前述のとおりオープンするホテルは現在1棟であり、順調に推移しておりますが、ホテル事業の強化に伴う販売費及び一般管理費等の増加もあり厳しい状況で推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,359百万円、営業損失274百万円、経常損失304百万円、当期純損失305百万円となりました。

また、当社は平成25年4月24日開催の臨時株主総会決議により決算期変更しているため、前年同期比は記載しておりません。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (ディストリビューション事業)

当社連結子会社のダイキサウンド株式会社が支援するアーティストの音楽CD・DVDは、昨年に比べ新譜の発売の減少などにより売上予想を下回るなど厳しい状況で推移した結果、売上高1,219百万円となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費をカバーするには至らず、セグメント損失101百万円となりました。

#### (ホテル事業)

ホテル事業につきましては、平成25年8月にオープンした「チューン那覇沖縄」の稼働率及びお客様の評価も高く、概ね順調に推移した結果、売上高139百万円となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費をカバーするには至らず、セグメント損失170百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は3,440百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,566百万円増加いたしました。

流動資産は、1,713百万円となり、同998百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が1,075百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、1,727百万円となり、同568百万円の増加となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は953百万円となり、前連結会計年度末と比較し3百万円減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は2,486百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,570百万円増加いたしました。主な要因は第2回ライツ・オフリングの実施による資本金及び資本準備金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、平成25年11月13日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

今後、連結業績予想に変更が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成26年5月30日付で株式会社キューズマネージメントの保有株式の全部を取得したことにより、子会社としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、継続企業の前提に関する注記を開示するまでには至りませんが、継続企業の前提に重要は疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該重要事象を解消し、または改善するために、以下記載のとおり取組んでまいります。

- ①報告セグメントのディストリビューション事業は、当社グループが、現在サポートする一部アーティストが好調に推移していることもあり、今後もニッチ市場の開拓等を積極的に展開し、より一層の拡販に取組んでまいります。また、更なる徹底したコスト削減に取組み、支出を抑制しながら効率的な事業活動を行い、収益改善をはかり業績向上に注力してまいります。
- ②報告セグメントのホテル事業は、現在稼働中のホテルが1棟であります。今後更なる取得等に向けた取組を強化するとともに、コスト等の削減及び支出を抑制し、収益改善を図ってまいります。
- ③当社グループは「新中期経営計画QOL2015」を策定後、事業領域の拡大を図っており、平成24年4月に「新たな事業の開始」に伴うホテル事業を開始するとともに、平成25年4月及び10月に2回の「ライツ・オファリング（ノン・コミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）」を実施し、約2,692百万円を調達しており、調達した資金により、新たな事業であるホテル事業の強化及び収益改善並びに財務体質改善に取組んでまいります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	380,210	1,455,699
受取手形及び売掛金	218,031	213,046
商品及び製品	16,025	14,884
原材料及び貯蔵品	46	109
短期貸付金	50,000	—
その他	79,308	41,164
貸倒引当金	△28,947	△11,590
流動資産合計	714,674	1,713,313
固定資産		
有形固定資産		
信託建物及び信託構築物	839,199	824,037
その他	263,727	539,142
有形固定資産合計	1,102,926	1,363,179
無形固定資産		
のれん	—	20,417
その他	7,266	7,502
無形固定資産合計	7,266	27,920
投資その他の資産		
投資有価証券	—	299,625
固定化営業債権	103,730	120,295
その他	145,852	131,896
貸倒引当金	△200,456	△215,386
投資その他の資産合計	49,126	336,430
固定資産合計	1,159,319	1,727,531
資産合計	1,873,993	3,440,844
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	297,411	281,923
1年内返済予定の長期借入金	9,996	27,925
未払費用	44,241	50,997
未払法人税等	2,153	5,765
返品調整引当金	4,264	4,949
その他	43,156	51,343
流動負債合計	401,222	422,904
固定負債		
長期借入金	536,676	511,250
退職給付引当金	15,692	17,765
その他	3,976	1,968
固定負債合計	556,344	530,983
負債合計	957,567	953,888



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	438,861	1,444,339
資本剰余金	667,814	1,673,292
利益剰余金	△195,187	△500,553
自己株式	△138,041	△138,041
株主資本合計	773,447	2,479,036
新株予約権	—	7,920
少数株主持分	142,978	—
純資産合計	916,426	2,486,956
負債純資産合計	1,873,993	3,440,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,777,345	1,359,270
売上原価	1,452,907	1,026,217
売上総利益	324,438	333,053
返品調整引当金繰入額	10,259	684
差引売上総利益	314,179	332,368
販売費及び一般管理費	354,417	606,508
営業損失(△)	△40,238	△274,139
営業外収益		
受取利息	209	917
商標権売却益	1,929	2,045
その他	481	700
営業外収益合計	2,620	3,663
営業外費用		
支払利息	235	8,894
貸倒引当金繰入額	36,000	—
株式交付費	—	25,315
その他	1,381	128
営業外費用合計	37,617	34,337
経常損失(△)	△75,235	△304,814
特別利益		
子会社株式売却益	2,328	—
負ののれん発生益	—	750
特別利益合計	2,328	750
特別損失		
事務所移転費用	2,869	—
特別損失合計	2,869	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△75,776	△304,063
法人税、住民税及び事業税	3,921	1,302
法人税等合計	3,921	1,302
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△79,697	△305,366
四半期純損失(△)	△79,697	△305,366

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△79,697	△305,366
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△79,697	△305,366
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79,697	△305,366
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社第2回ライツ・オファリング(新株予約権)の行使期間(平成25年11月28日～平成25年12月20日まで)において、新株予約権の行使により、前連結会計年度末に比べ資本金が1,005,477千円、資本準備金が1,005,477千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金1,444,339千円、資本準備金1,444,339千円となっております。

(セグメント情報等)

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円)
	ディストリ ビューショ ン事業	ソリューシ ョン事業	ホテル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,715,690	61,247	407	1,777,345	—	1,777,345
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,715,690	61,247	407	1,777,345	—	1,777,345
セグメント利益	△42,092	12,432	△7,684	△37,343	△2,895	△40,238

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。  
 3. 当第3四半期連結会計期間よりホテル事業を開始したため、報告セグメントにホテル事業を追加しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第3四半期連結会計期間より、ホテルの資産管理・運営を目的とした事業を開始したことに伴い、報告セグメントを従来の「ディストリビューション事業」及び「ソリューション事業」の2区分から、「ディストリビューション事業」、「ソリューション滋養」及び「ホテル事業」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき、作成したものを開示しております。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (千円) (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円)
	ディストリビューシ ョン事業	ホテル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,219,492	139,778	1,359,270	—	1,359,270
セグメント間の内部売 上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,219,492	139,778	1,359,270	—	1,359,270
セグメント利益	△101,483	△170,917	△272,400	△1,739	△274,139

- (注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。  
 (1)セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,739千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「ホテル事業」セグメントにおいて、チューン那覇匿名組合の持分の追加取得により、のれんが増加しております。当該のれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては20,417千円であります。

### 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成25年9月期の第3四半期連結会計期間より、ホテル資産管理・運営を目的とした事業を開始したことに伴い、報告セグメントを従来の「ディストリビューション事業」及び「ソリューション事業」の2区分から、「ディストリビューション事業」、「ソリューション事業」及び「ホテル事業」の3区分に変更しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「ソリューション事業」を撤退しております。

これにより、当第1四半期連結会計期間より「ディストリビューション事業」、「ホテル事業」の2つを報告セグメントとしております。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年7月14日開催の取締役会において、第三者割当による新株式の発行を決議し、平成26年7月30日に払込が完了いたしました。

その概要は以下のとおりであります。

1. 募集株式の種類及び数  
当社普通株式 14,286,000株
2. 発行価額  
1株につき35円
3. 発行価額の総額  
500,010千円
4. 発行価額のうち増加する資本金及び資本準備金の額  
増加する資本金の額 250,005千円  
増加する資本準備金の額 250,005千円
5. 募集方法  
第三者割当
6. 申込期間  
平成26年7月30日
7. 払込期日  
平成26年7月30日
8. 割当先  
Red Planet Holdings Pte Ltd
9. 資金の用途  
愛知県名古屋市中区のホテル用地取得費用



(第三者割当による新株予約権の発行)

当社は、平成26年7月14日開催の取締役会において、第三者割当による第4回新株予約権の発行を決議し、平成26年7月30日にその払込が完了いたしました。

その概要は以下のとおりであります。

1. 新株予約権の目的である株式の種類及び数

当社普通株式 64,286,000株

2. 発行新株予約権数及び割当先

第4回新株予約権 642,860個

①Red Planet Holdings Pte Ltd 142,860個

②Oakキャピタル株式会社 500,000個

3. 新株予約権の発行価額

総額26,357,260円

1個当たり41円

4. 新株予約権の行使による株式発行価額

総額 2,250,010,000円 (うち資本金へ組み入れる額1,125,005,000円)

1株当たり 35円 (うち資本金へ組み入れる額 17.5円)

5. 当該発行による潜在株式数

64,286,000株

6. 募集又は割当方法

第三者割当

7. 発行期日

平成26年7月30日

8. 新株予約権の行使期間

平成26年7月30日から平成28年7月29日まで

9. 資金使途

東京都台東区浅草のホテル物件の取得に関する費用及びこれに係る一般管理費等、東京都品川区五反田のホテルの取得に関する費用及びこれに係る一般管理費等、愛知県名古屋市中区のホテル開発に関する費用及びこれに係る一般管理費等、東京都区内(上記2つの物件を除く)、大阪のホテルに係る建物及びその敷地の取得費用の一部並びにこれらホテルに関する一般管理費等に充当予定

(重要な設備投資)

当社は、平成26年7月14日開催の当社取締役会において、下記設備投資について決議いたしました。

1. 取得の目的

ホテル事業の強化を図るものであります。

2. 設備投資の内容

所在地 東京都品川区西五反田

内容 ホテル用地（土地、建物） 約1,371百万円（諸費用込）

投資予定額 約1,371百万円（諸費用込み）

3. 導入時期

平成26年7月14日 売買契約書締結及び手付金支払い

平成26年9月1日 最終残金支払い及び土地、建物所有権移転

平成26年9月1日（予定） 既存ホテルであるため、引続き営業

(株式追加取得による子会社化)

当社は、平成26年7月31日開催の取締役会において、当社の持分法適用関連会社である株式会社キューズダイニング（以下「キューズダイニング」）が実施する第三者割当による新株式発行に関し、第三者割当増資を引受けることを決議し、同日付でその払込を完了いたしました。

なお、この株式取得により、キューズダイニングは当社の連結子会社となる可能性があります。しかしながら、増資後のキューズダイニングの株主構成は、当社が約54%、当社親会社でありますRed Planet Holdings Pte Ltdの株式12%所有するエヴォリューションキャピタル社（エヴォリューションキャピタル社は、タイに上場しております。）が約29%の株式を所有しており、また、取締役の構成に関しては、エヴォリューションキャピタル社2名、当社2名、キューズダイニング2名の構成であり、当社2名のうち1名がエヴォリューションキャピタル社の取締役を兼務している状態であります。

このため、当社とエヴォリューションキャピタル社との間において、どちらが連結子会社として認識するかについて、現在、協議中であります。

これは、タイに上場するエヴォリューションキャピタル社は、国際会計基準（IFRS）を基準とし、エヴォリューションキャピタル社として連結子会社とする認識を示しており、当社は日本における会計基準を基準とし、当社の連結子会社となる可能性があることなどから、今後、両社、協議のうえ、改めてどちらが連結子会社と認識するかについて開示する予定であります。

1. 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社キューズダイニング

事業の内容 飲食店の経営・企画・運営・経営コンサルタント

② 企業結合を行った主な理由

当社グループが事業強化するホテル事業のホテル内における飲食店等の運営等の強化を図ることにより両社の事業シナジーが期待できること。

③ 企業結合日

平成26年7月31日

④ 企業結合の法的形式

現金による株式の取得

⑤ 結合後の企業の名称

結合後の企業の名称に変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた普通株式の時価	49.0 %
企業結合日に追加取得した議決権比率	5.3 %
取得後の議決権比率	54.3 %

⑦ 取得企業を決定するに至った根拠

当社が現金を対価としてキューズダイニングの発行済株式の過半数を保有するため、取得企業となります。

2. 被取得企業の取得原価及びその内訳

企業結合直前に所有していた普通株式の時価	299,625 千円
企業結合日に追加取得した普通株式の時価	70,224 千円
取得原価	369,850 千円

3. 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

該当事項はありません。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

6. その他

キューズダイニングが連結子会社となることに伴い、同社の連結子会社である下記の会社は、同日において当社の連結子会社となります。

① 企業の名称

株式会社VALORE

株式会社スイートスター

② 企業の事業の内容

飲食店の経営・企画・運営・経営コンサルタント

③ 結合後の企業の名称

結合後の企業の名称に変更はありません。

(多額な資金の借入)

当社は、平成26年7月31日付で株式会社関西アーバン銀行と金銭消費貸借約定書を締結致しました。

1. 資金の用途  
愛知県名古屋市のホテル用地取得資金の一部
2. 借入先の名称  
株式会社関西アーバン銀行
3. 借入金額  
550,000千円
4. 借入条件
  - (1) 借入金利 2.0%
  - (2) 返済方法 期限一括返済
5. 借入の実施時期、返済期限
  - (1) 実施時期 平成26年7月31日
  - (2) 返済期限 平成28年1月31日
6. 担保提供資産  
土地